

介助量を数値化する意味とは？

職員の気づきが ご本人の力を引き出す

北海道 芦別市
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
作業療法士 中尾亮介

F I Mとは？

目的

- ・介助量を数値化する
- ・自立支援につながる視点を持つ

「見守ればできそう」
「もっとできそう」

内容

- ・運動13項目、認知5項目の18項目からなる。
- ・1項目7点満点（最高126点、最低18点）。



機能的自立度評価 F I M（H29.2～）

1. 要介護度別のF I Mの傾向
2. 一人の対象者に継続してF I Mを使用しわかったこと
3. F I Mで評価できない部分

どうしてF I Mを始めたのか？

お客様の変化はわかるが、
客観的に表すものが欲しい。

当法人では...
栄養ケア→**アルブミン値**
（血中タンパク濃度）が根拠
数値化できて把握しやすい。



生活全般の**介助量がわかるF I M**で
取り組みの成果を見れるのでは。

運動項目の内容 13項目

分類	内容	
セルフケア	食事、整容、清拭、更衣（上）、更衣（下）、トイレ動作	6個
移乗	ベッド及び車椅子、トイレ、浴槽	3個
排泄コントロール	排尿、排便	2個
移動	車椅子もしくは歩行、階段	2個



認知項目の内容 5項目

分類	内容	
コミュニケーション	理解 表出（飲み物飲みたい、飲みたくなないと答える等）	2個
社会的認知	社会的交流 問題解決（困ったらNC押せる） 記憶（人の顔等）	3個



点数の基準

介助者	点数	程度
×	7	完全自立
	6	装具等使用、時間かかるが自立
○	5	見守りが必要 ※認知項目は極わずかに介助（10%）
	4	わずかに介助（25%）
	3	中等度介助（50%）
	2	おおよそ介助（75%）
	1	全介助

要介護度別にみた F I M の点数

(H29.12現在)

要介護度 (人数)	合計 (128点満点)	運動 (91点満点)	認知 (35点満点)
介護1 (1名)	104	73	31
介護2 (3名)	83	64	19
介護3 (28名)	53	53	20
介護4 (45名)	47	32	15
介護5 (19名)	31	17	13

要介護度3～要介護度4は開きが**26点**

運動項目	要介護度3	要介護度4
食事	5	4
清拭	4	1
更衣 下半身	3	1
トイレ動作	4	1
排尿管理	4	1
排便管理	6	4
ベッド・車椅子・椅子移乗	5	3
移動	4	3

7点...自立
6点...道具等で自立
5点...見守りのみ。
4点...**わずかに介助**
3点...中等度介助
2点...おおよそ介助
1点...全介助

認知項目	要介護度3	要介護度4
理解	4	4
表出	4	3
社会的交流	4	3
問題解決	4	3
記憶	3	3
合計	19	16

7点...自立
6点...道具等で自立
5点...極わずかに介助
4点...**わずかに介助**
3点...**中等度介助**
2点...おおよそ介助
1点...全介助

トイレ動作に含まれる要素

トイレ動作は・・・

「下衣を下げ、お尻等を拭き、下衣を上げる」こと。

- ・立位が保持できる
- ・立つ気持ちになっている
- ・手すりに掴まりながら下衣を上げ下げできるなど

その分、**機能の維持につながる**のでは？



1人の対象者に継続して F I M を使用しわかったこと

A氏 80歳代後半 要介護度4
入居時（H28.12）の様子



9か月後... (H29.9)



実施したこと



身体が元気になるために...

- ・機能訓練として、起きる際動き出しを待つ
- ・端座位となってお辞儀運動を行う。

心が元気になるために...

- ・はつらつコーラスで会長
- ・はじまりとおわりの挨拶



A氏 FIMの変化 運動項目

運動項目	H28.12	H30.3	
更衣 上半身	2	3	7点...自立
トイレ動作	1	2	6点...道具等で自立
排便管理	4	6	5点...見守りのみ。 4点...わずかに介助
ベッド・車椅子・椅子移乗	1	5	3点...中等度介助 2点...おおよそ介助
トイレ移乗	1	5	1点...全介助
移動	1	5	

A氏 FIMの変化 認知項目

認知項目	H28.1	H30.3	
理解	2	5	7点...自立 6点...見守りのみ
運動・認知合計	51	70	3点...中等度介助 2点...おおよそ介助 1点...全介助

要介護度：H29に4から3へ
H30に3から2へ

主な改善項目

項目	入居時 (H28.12)	現在 (H30.3)
排便管理	パット交換	便意を訴え、トイレで排泄。
移乗	2名で介助	見守り ※自宅へ出かけるため、普通乗用車に娘様の介助で歩けるように！
移動	介助	行事への参加、居室へ戻る際に自分で車いすを漕がれる。
アルブミン値	3.3	3.9へ上昇

わずかに支える

全介助

職員によって
お客様の動きが変わってしまう

見守り

B氏
(90歳代前半 女性 要介護度4)

・介助が**大変**な人



・膝が伸びなくて**立てない**人

・**寝返りができない**人

B氏 移乗の様子①

(本人が返事しているが気づかない...)



でも...よく見てみると



寝返りは**できそう!**

ゆっくり介助すれば自分でバランスを**保てる!**

ベッドからお尻を少しでも**上げられる!**

B氏への取り組み「動き出しはご本人から」

①寝返りをしてから起きる



②起き上がりの介助は**ゆっくり**と行い、**自分でバランスをとるのを待つ。**

③移乗介助する時はご本人が**お尻を上げようとするのを待つ。**

B氏 移乗の様子②
2週間後

前より立っ
て
く
れ
て
い
る!



B氏 移乗の様子③

自分で座りな
おせるんだ!



職員の発言の変化

	実践前	実践後
職員の発言	「身体が硬くて寝返りができない」	「肘をついて起きてくれている」 「最近自分からすごい立ち上がろうとしてくれる」

	最初の動画	最後の動画
FIMの点数	2点 おおよそ介助	4点 軽介助
理由	しっかり立ち上がり介助が必要。 お尻の方向を誘導する介助が必要。	職員は両わきをわずかに支えるのみで立ち上がり、自らお尻の方向をずらせている。
その差 2点		

本人の言葉を信じて実践

- ・お客様がどこまでできそうか、**見立てる**。
- ・自分の介助を見て**振り返る**。



本人が元気になる
やりたいことができる
FIMの点数アップ

最後に...

介助量を数値化する意味とは？

- ①要介護度、ユニット別の**傾向**がわかる。
- ②ケアや機能訓練の**成果**がわかる。
- ③**過介助**を見直し自立支援につながる。

ご清聴ありがとうございました。